

ART bee HIVE

アート ビー ハイヴ

(公財)大田区文化振興協会が2019年秋に創刊した、地域の文化・芸術情報を盛り込んだ季刊情報紙。「BEE HIVE」とは、ハチの巣の意味。公募で集まった区民記者「みつばち隊」と一緒に、アートな情報を集めて皆さまへお届けします!

紙面で紹介しきれなかった情報をWEB版「+bee!」で掲載しています。



紙面と連動したTV番組「ART bee HIVE TV」も発行月に放送しています。



公式PRキャラクターリスビー

アートを学ぶ街

大田の アートスクール

①日本工学院専門学校 ②日本芸術専門学校 ③平多正於舞踊研究所 舞踊こまどり会 ④studio邦楽アカデミー ⑤森中牧バレエスタジオ ⑥デパルク バレエスクール ⑦ダンス塾こぐれ

アーティストを目指す若者たちが全国から集まる街。

大田区には様々な芸術を学ぶことができる多くの学校があります。そんな区内のアートスクールを紹介します。

1947年創立の「日本工学院専門学校」は、パフォーマーやクリエイターはもちろん、クリエイティブを支えるスタッフ・技術者・プランナーなどを養成する多彩な学科が用意されています。キャンパス内にはコンサートや室内競技に活用できる約4,000名収容の「日本工学院アリーナ」があります。

舞台俳優・映像俳優・ミュージカル俳優・声優・ダンサーなど、エンターテインメント業界で活躍する人材を幅広く養成する「日本芸術専門学校」。マルチプレーヤーが求められる現在、各コースの枠を飛び越え、分野に縛られることのない自由なカリキュラムを展開しています。

「平多正於舞踊研究所」は、1947年に創設された歴史あるモダンバレエスタジオ。児童舞踊と現代舞踊を組み合わせた創作舞踊を生み出し、創始者の平多正於は1971年に紫綬褒章を授与されました。

*ロシアのバレエダンサー・バレエ指導者であるアグリッピナ・ワガノワ(1879-1951)が創始したバレエテクニックおよび指導法。

和太鼓を通じて日本文化を学ぶ「studio邦楽アカデミー」。「大田区を「元」として世界に羽ばたける人材を育成出来るように、講師・卒業生により2000年に結成された和太鼓集団「大元組」は、世界16か国以上で公演を行なっています。

「森中牧バレエスタジオ」は、パリオペラ座メソッドを学んだ森中牧さんとワガノワメソッド*を学びアメリカでプロバレエダンサーとして活動した森中健智さんの主宰です。

ローザンヌ国際コンクールをはじめ、国内外のコンクールで数々の受賞者を輩出し、卒業生が英国「ロイヤルバレエ団」で踊っている「デパルク バレエスクール」。

劇団四季出身の小暮キヨタカさんが主宰する「ダンス塾こぐれ」。ダンスはもちろん、歌と芝居も実践的に学べるミュージカルクラスが人気です。

アーティストを目指す若者たちが全国から集まる街、大田区。未来の巨匠やスターたちがあなたの隣にいるかもしれません。

日本工学院専門学校
大田区西蒲田5-23-22
neec.ac.jp/

日本芸術専門学校
大田区山王2-12-13
jnc.nichigei.ac.jp/

平多正於舞踊研究所 舞踊こまどり会
大田区上池台2-12-4
hirata-masao.com/

studio邦楽アカデミー
大田区西蒲田7-29-5 ニューカマタビル B1F
hougaku-academy.morihan.tokyo/

森中牧バレエスタジオ
大田区蒲田2-4-1 ラルシュビル 2F
morinakamaki-ballet.com/

デパルク バレエスクール
大田区田園調布2-35-14
フィル・パーク田園調布 2F
de-parc.com/

ダンス塾こぐれ
大田区東嶺町30-18 B102
dancejyuku.com/

4面に「大田のアートスクール MAP」を掲載しています。

アートな
人

サム
SAM

ダンサー・ダンスクリエイター

日本工学院専門学校 ダンスパフォーマンス科 トータルプロデューサー



ダンスは誰でも明るくポジティブにしてくれる。

常に日本のストリートダンスシーンを牽引し、1993年にデビューしたダンスボーカルユニット「TRF」のメンバーとして一大ダンスブームを巻き起こしたSAMさん。2007年から蒲田にある日本工学院専門学校で、若きダンサーの育成に情熱を注いでいます。

「カリキュラムは全部僕が決めるし、先生も全部僕が決める。やるからには真剣にやりたい」と語るSAMさん。ご自身も週一回学生たちに直接指導しています。「先週これを教えたから今週はこれを教えよう、次の週はこうしよう」と段階を踏んでカリキュラムを作っています。

学生たちに伝えたいことは何より基礎の大切さ。「自分のスタイルを作らなくてはと、あまりこだわらない方がいい。誰かの真似をしてもいい、上手くなることに集中しているうちに、自然と自分らしさが出てくるんです」。

SAMさんとダンスの出会いは高校1年生の時。「初めて行った渋谷のディスコで友だちと踊っていると、白いスーツを着た常連の人が入ってきた。サーッとサークルができて、その人が真ん中で踊り始めた。めちゃくちゃ格好良く、自分もこうなりたいたのめり込んでいきました」。

SAMさんはパフォーマーであると共に、振り付けや舞台演出もされています。「自分たちが踊るために、振り付けが必要だから振り付けする。振り付けすると、ダンスをどうやって見せようかと考えるので演出する。全部が密接に結びついています」。

日本のダンスシーンはどんどん進化しています。「みんながワールドワイドに活躍できるようになったらいいなと思います。日本人ダンサーが海外アーティストのバックで踊るのも、今は当たり前になりました。これからは日本発の新しいステップやスタイルが欲しいですね」。

最後にダンスの魅力を伺うと、「ダンスは人が踊るのを見ても、自分で踊っても、気持ちが高揚し、楽しくなる。ダンスは誰でも明るくポジティブにしてくれるんです」。

日本工学院専門学校 ダンススタジオの鏡の前に立つSAMさん

©KAZNIKI



駅前広がる日本工学院専門学校



生徒一人一人と向き合い指導する

SAM サム

15歳で初めてダンスに出会い、その後、単身NYへダンス留学。ダンスボーカルユニット「TRF」のダンサー。TRFはもちろん、SMAP、東方神起、BoA、V6他多数のアーティストの振付、コンサートプロデュースを行う。2007年、日本工学院専門学校ミュージックカレッジ ダンスパフォーマンス科トータルプロデューサーに就任。

取材協力：日本工学院専門学校

商店街 × アート vol.20

大田区内の商店街にあるアートのスポットやイベントを紹介します。



ギャラリースペースを備えた売り場

「大森アートポジション」

📍 大田区大森北1-37-4 スカイビル1・2F
🚶 JR京浜東北線「大森駅」東口 徒歩7分
🕒 10:00-19:00 休 火曜 ☎ 03-6450-0337
🌐 oomori-art-position.jimdofree.com/

絵を描きたいと思ったら、とりあえず来てみてください。

大森にある老舗の画材店、それが「大森アートポジション」です。絵の具・筆・紙といった画材の販売はもちろん、額装や絵画・工作・造形などのアートスクールも行なっています。

創業は1956(昭和31)年、山王3丁目にあった大森画荘が始まり。その後、何回かの移転とオーナーチェンジを経て今に至ります。

「店名は大森のアート拠点になるという思いからです」と語る店長の鶴谷忠司さん。「こだわりは地域密着。近隣のお客さんが必要なものを揃えています。店頭にはないものは言っていたら、お取り寄せします」。

新宿や渋谷といった大きな街以外で画材店があるのはとても珍しいこと。「かつて山王には有名な絵描きさんや文化人がお住まいで、

絵を描かれる方が多かったそうです。何より、一般の方の文化・アートへの関



店長の鶴谷さん

心が高い地域だと思います。今もアートスクールはジュニアクラスを中心に生徒さんが増えています」。

「絵を描きたいと思ったら、とりあえず来てみてください。何か買っていただかなくてもいい。絵を始めたい、こんな絵を描いてみたいとか、気軽に相談に来てください」。

お客さまと繋がっているからこそ、新しい何かが生まれてくる。

森 莉 那

ミュージカル女優・女優

宮崎駿の名作アニメを舞台化した『千と千尋の神隠し』。日本はもちろん、昨年のロンドン公演も大ヒットとなりました。演劇のメッカであるロンドン・ウエストエンド*1で千尋役デビューしたシンデレラガール、森莉那さん。山王にある日本芸術専門学校の卒業生です。

「学生時代の思い出は、『ミュージカルプロジェクト』です。第一線で活躍されている演出、歌唱指導、振り付けの方々に教えていただき、ブロードウェイ作品を学校で公演するんです。プロの現場を経験できたのはとても良かった。海外研修で行ったブロードウェイで、現地の方と一緒にレッスンを受けたのも特別の経験でした」。

2024年、森さんに、大きな転機が訪れます。『千と千尋の神隠し』ロンドン公演で、アンダースタディ*2から主演へ抜擢されたのです。「本当に飛び跳ねて喜びました(笑)。とても嬉しかったですし、同時にすごく責任も感じました。今までのメンバーの中に新たに入っていくことも不安でしたし、一から積み上げていかなければならない焦りもありました。『出来る、出来る』と自分に言い聞かせ、やるしかない」と心に決めました」。

ロンドン公演で、改めて発見があったそうです。「舞台は生き物だと強く感じるようになりました。公演ごとにお客さまのいろんな反応が起きて、それが舞台を変えていく。舞台の上だけでなく、お客さまと繋がっているからこそ、新しい何かが生まれてくるんだと実感しました」。

最後に、今後の目標についてお聞きしました。「ミュージカルはもちろんですが、ストレートプレイ(通常の演劇)にも挑戦したい。いろんな役とも出会いたい。これから人生経験を積み、いろんな引き出しが出来てくと思う。一生役者を続けていきたいです」。

*1:ロンドンの大規模な「劇場街」。ニューヨークのブロードウェイと並び、商業演劇で最高峰のレベルにある。
*2:主要な役を演じる俳優の不慮の事態にそなえて、その代役を務められるように準備して、公演期間中待機する控えの俳優。

森 莉那 Mori Marina

日本芸術専門学校卒業。在学中にプロの女優として活動を開始。卒業後まもなく『薄桜鬼志譚』土方歳三篇のヒロイン・雪村千鶴役に抜擢される。その後『デスノート THE MUSICAL』、ミュージカル『ローマの休日』などの舞台作品に出演。2024年には舞台『千と千尋の神隠し』ロンドン・コロシウム公演に千尋役として出演。2025年7月から上海公演にも同役で出演予定。

取材協力：日本芸術専門学校



日本芸術専門学校 山王ヒルズホールの舞台上に立つ森さん

©KAZNIKI

ミュージカル

『夜明けにコーヒーを Having a coffee at dawn』

脚本:中原和樹 演出:伊藤靖朗

出演:水 夏希/大隅勇太

西葉瑞希・森 莉那(Wキャスト)/坂元健児

4月10日(木)~11日(金)

📍ムーブ町屋 ◎3ステージ(プレビュー)

4月17日(木)~18日(金)

📍成城ホール ◎3ステージ

4月22日(火)~25日(金)

📍草月ホール ◎6ステージ



山王の高台にたたずむキャンパス

みつばち隊：羽根付きギョウザさん



森さんが舞台の中央に凛とした姿で立った瞬間、舞台そのものがグッと広がったように感じました。クルクルと廻る瞳で、ミュージカルをもっと身近なものにしたいと熱く語る森さんから、パワーを分けていただきました。

アートレガシー in おおた vol.19

大田区内にある文化財にスポットを当て紹介します。

磐井神社の江戸文人石碑群 (大田区指定有形文化財)

📍 大森北 2-20-8



烏石碑

磐井神社は、平安時代初期に編まれた『日本三大実録』や『延喜式』に登場する、大田区内屈指の古社です。東海道に面し、多くの方が参詣した境内には、江戸時代の文人墨客*が建てた石碑が数多く残されています。その中で最も大きな「烏石碑」には、江戸時代中期に活躍した書家・松下烏石(1699-1779)が、鳥のような模様がある天然石を「烏石(からすいし)」と名付け、当社に奉納した経緯が刻まれています。松下は中国の大家の書法を重視し、数多くの著作や書の手本帖を刊行し、多くの弟子に師事されたことが知られています。晩年には江戸から京都に移り、西本願寺の門主にも教授しました。江戸随一と称えられた書風を伝える遺品は全国に分布しています。新田神社に立つ「新田神君

之碑」(大田区指定文化財)も、そのひとつです。

「烏石碑」の傍らには、「竹岡先生書学碑」や「退筆塚」等が並んでいます。松下に師事し、書家として大成した細井竹岡(1715-95)や脇田赤峰(?-1809)らを顕彰するため、それぞれの門人が建立したものです。こうした石碑には、敬愛する師の事績を石に刻み、末永く伝えたいという、門弟たちの温かな気持ちが込められています。彼らも書や著作を多く残しており、浄書を手掛けた石碑の中には、所在する自治体の指定文化財となっているものもあります。

*詩文・書画などの風流に親しむ人。

文：森 瑞穂(大田区教育委員会 文化財担当)

📍 大田区教育委員会 文化財担当 ☎ 03-3777-1281

大田のアートスクールMAP

- 日本芸術専門学校
 - 大田区山王2-12-13
 - JR京浜東北線「大森駅」徒歩3分 ☎03-3771-2111
- 日本工学院専門学校
 - 大田区西蒲田5-23-22
 - JR京浜東北線・東急多摩川線・池上線「蒲田駅」徒歩2分
 - ☎0120-123-351
- 森中牧バレエスタジオ
 - 大田区蒲田2-4-1 ラルシュビル2F JR京浜東北線「梅屋敷駅」徒歩6分
 - ☎03-6276-3520 📧morinakamakiballetstudio
- studio 邦楽アカデミー
 - 大田区西蒲田7-29-5 ニューカマタビル B1F
 - JR京浜東北線・東急多摩川線・池上線「蒲田駅」徒歩2分
 - 📧event@morihan.co.jp 📧hougaku_academy
- 平多正 正舞踊研究所 舞踊こまどり会
 - 大田区上池台2-12-4 JR東急池上線「洗足池駅」徒歩5分
 - ☎03-3720-8616 📧hiratamasaomoderndanceacademy
- デパルク バレエスクール
 - 大田区田園調布2-35-14 フィル・パーク田園調布2F
 - 東急東横線「田園調布駅」徒歩5分 ☎03-5755-5791 📧deparcballetschool
- ダンス塾こぐれ
 - 大田区東端町30-18 B102 JR東急池上線「久が原駅」徒歩2分
 - ☎070-4401-3278 📧dancejukugure_kta



リズビーReport

リズビーが前号で紹介したイベントや場所を訪れます。



NIKO FLOWERS+ 大田区山王2-36-11
 たくさんのお花に囲まれて幸せそうなリズビーです。ここは大森のジャーマン通り沿いにあるフラワーショップ。入口のランプにパンピを描かれた赤木仁さんとのご縁は、近所にあったオーナー行きつけのお店がきっかけだったとか。

リズビー公式 X ARTbeeHIVE

注目EVENT

ギャラリー南製作所企画展「つくる～制作と制作」

5月10日(土)～6月1日(日) ☎13:00-19:00



ベンチレース (ギャラリー南製作所蔵)

工場を再生利用したギャラリーを始めて10年の節目に、ここが工場だったことの原点に立ち、工場で使われていた工具・機械と、現役職人による作品(以上「製作」)、そしてこの10年でギャラリーに縁してくれたアーティストによる作品(以上「制作」)を並べて展示する。「製作」と「制作」それぞれに宿る美を、来場者に自由に感じていただく展覧会です。

📍ギャラリー南製作所(大田区西糀谷2-22-2) 🆓無料(音楽ライブは有料) 📅休 火・水・木曜
 ☎03-3742-0519 🏠2222gmf.blogspot.com/

生誕100年 豊福知徳展

4月19日(土)～5月6日(火・祝) ☎10:00-18:00

1925年、福岡県久留米市に生まれた豊福知徳は、特攻隊員として従軍したのち、戦後は彫刻家としての人生を歩み始めます。1960年には世界で最も長い歴史を持つ国際芸術展、「ヴェネツィア・ビエンナーレ」の日本代表として渡欧。そこから約40年にわたりミラノで精力的な制作活動を行いました。作品は国内外の美術館に多く收藏されています。生誕100年を記念する本展では、初期から晩年までの作品を一挙にご紹介します。

📍みぞえ画廊東京店 田園調布ギャラリー
 (大田区田園調布3-19-16)

🆓無料 📅会期中無休 ☎03-3722-6570

🏠mizoe-gallery.com/ 📧mizoeartgallerytokyo



『無題』メデュム:マホガニー (1969年制作)

📍=場所 / 🚗=アクセス / ⌚=開催時間・営業時間 / 📅=休館日・定休日 / 💰=料金 / 🏠=主催 / 🤝=共催 / 🙋=後援 / 🗨=お問合せ / ☎=電話番号 / 📧=メール / 🏠=ホームページ

発見! 街角アート

みつばち隊の皆さんが、大田区内の街角で見つけたアートなモノ・バショ・コトを紹介するコーナーです。



川端龍子の自宅とアトリエで龍探し
 みつばち隊: 呑川のほとりさん

龍子記念館の目の前に、自宅とアトリエが保存されています。職員のガイド付きで公開されていて、この解説がとっても面白いんです。龍をこよなく愛した画家だけに、網代天井・入り口の石畳・かんなで削りだした縁側と随所に龍を取り入れたそうで、「訪問者によって意見が分かるところですが」と、飾り窓を紹介された時は、なるほど! 見ようによっては龍とも草木ともどっちとも取れると感心しました。「龍探し」おすすめですよ。



灯りに導かれて
 みつばち隊: 雪谷のさくらさん

大学からの帰り道、いつもとは違う駅から帰ってみようと歩いていると、暗い道中に温かい灯りを見つけました。御嶽山駅近くに新しく生まれ変わった藤乃屋書店です。お店の棚は移動式になっていて、ワークショップやイベント等用途に合わせて新たな空間を作り出せる仕組みはとても画期的に思いました。まちの書店が姿を消していく中、この場所が書店文化を守り、地域や住民の心を繋ぐ新たな拠点となりそうです。



編集後記



みつばち隊: 山王すばこさん

自宅近くにバレエ教室が複数あり、可愛らしいお稽古スタイルのこどもたちと毎日すれ違います。アプリコでも大型のバレエの公演が毎年あります。バレエ好きの私には「大田区は実はバレエがとても盛ん?」と秘かに幸せを感じております。



みつばち隊: 洗足のMissyさん

こどもの頃にバレエを習っていたが、大人になると仕事漬けの日々。コロナで在宅勤務が増え、時間の余裕ができた時、バレエ教室のチラシをもらった。入会すると身体は覚えているもので、とにかく楽しく、道端でも踊りたくなる程。



みつばち隊: 大森採れパインアップルさん

文楽ファンだ。きっかけは高校の校外授業で行った文楽鑑賞教室。自ら足を運ぶようになったのは20年以上経ってからだが、今では年に1~2度観劇している。学校に一人だとしてもこういう人間が出てくるのだから、種蒔きは有効!



みつばち隊: 羽根付きギョウウザさん

クレヨンで好きな色を全部使って下地を塗って、全面を真っ黒に塗り潰す。それから黒い部分を削り取って絵を描いてみるとあら不思議、カラフルな世界が出現! 幼稚園の自由遊びの中であの時間がとても好きだった記憶があります。



みつばち隊: 池上のワンコさん

フルタイムのオフィスワークで、忙しい日々を過ごしています。最近、少し先のリタイア後の生活について、考えることが増えてきました。染織やガラス工芸の学校に通いながら、第二の人生を楽しむのも素敵だなあと感じています。



編集長: MOJOさん

今回、大田区内にこんなにもたくさんの芸術系学校があることを再認識しました。キャンパスですれ違った若者たちの目はみんなキラキラと輝いていました。大田区の元気さの一つの要因を知った気がします。

発行: 公益財団法人 大田区文化振興協会
 〒146-0092 東京都大田区下丸子3-1-3 大田区民プラザ
 ☎03-3750-1614(月・金 9:00-17:00 ※休館日を除く) 📧art-bee-hive@ota-bunka.or.jp
 🏠ota-bunka.or.jp/ Xota_bunka 📧otabunkaart
 📺大田区文化振興協会チャンネル 📺大田区文化振興協会 編集・デザイン: MOJOWORK

ART bee HIVEの
 詳しい情報はこちら



大田区のアートな情報募集中!

情報をお寄せくださった方には抽選で、情報紙 ART bee HIVEの公式PRキャラクターリズビー & 大田区の公式PRキャラクターはねびよんの限定コラボグッズをプレゼント!



応募はこちらから!



この情報誌には印刷インキ工業連合会認定の植物インキを主に使用しています。